

北海道浮魚ニュース

平成11(1999)年度15号 (通巻 No.61)

1999年9月10日

| | | |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 北海道立中央水産試験場 | Tel : 0135-23-8707 | Fax : 0135-23-8709 |
| 釧路水産試験場 | Tel : 0154-23-6221 | Fax : 0154-23-6225 |
| 函館水産試験場 | Tel : 0138-57-5998 | Fax : 0138-57-5991 |
| 稚内水産試験場 | Tel : 0162-32-7177 | Fax : 0162-32-7171 |
| 網走水産試験場 | Tel : 0152-43-4591 | Fax : 0152-43-4593 |

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間：1999年8月31日～9月8日

調査海域および調査点：道東～日高沖太平洋(北緯40度00分～42度30分、東経142度～145度50分)における8調査点(図1)

調査方法：10種類の目合(22mm～182mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った8調査点の表面水温は19.5～24.0 で、前年(17.4～22.4)よりもかなり(平均で2.1)高めでした。

漁獲試験の結果は図1のとおりで、流し網調査1回当たりの漁獲尾数(CPU E)の経年変化は図2のとおりです。

サバは、4調査点で6～34尾、合計93尾漁獲されました。CPU Eは12尾/回で、前年の4尾/回を上回りましたが、1994年以降では2番目に低い水準でした。

マイワシは、2調査点で1～4尾、合計5尾漁獲されました。CPU Eは1尾/回で、前年の2尾/回を下回り、1994年以降では2番目に低い水準でした。

カタクチイワシは、5調査点で23～320尾、合計639尾漁獲されました。CPU Eは80尾/回で、前年の679尾/回を下回りましたが、1994年以降では2番目に高い水準でした。

サンマは、3調査点で7～48尾、合計63尾漁獲されました。CPU Eは8尾/回で、前年の14尾/回を下回り、1994年以降では2番目に低い水準でした。

スルメイカは、5調査点で5～98尾、合計155尾漁獲されました。CPU Eは19尾/回で、前年の2尾/回を上回りましたが、1994年以降では2番目に低い水準でした。

アカイカは、全調査点で1～333尾、合計743尾漁獲されました。CPU Eは93尾/回で、前年の53尾/回を上回りましたが、1994年以降では2番目に低い水準でした。

また、**カツオ**が6調査点で1～92尾、合計265尾漁獲されました。CPU Eは33尾/回で、前年の3尾/回を大きく上回りました。

(文責：釧路水試資源管理部 直通電話0154-23-6222)

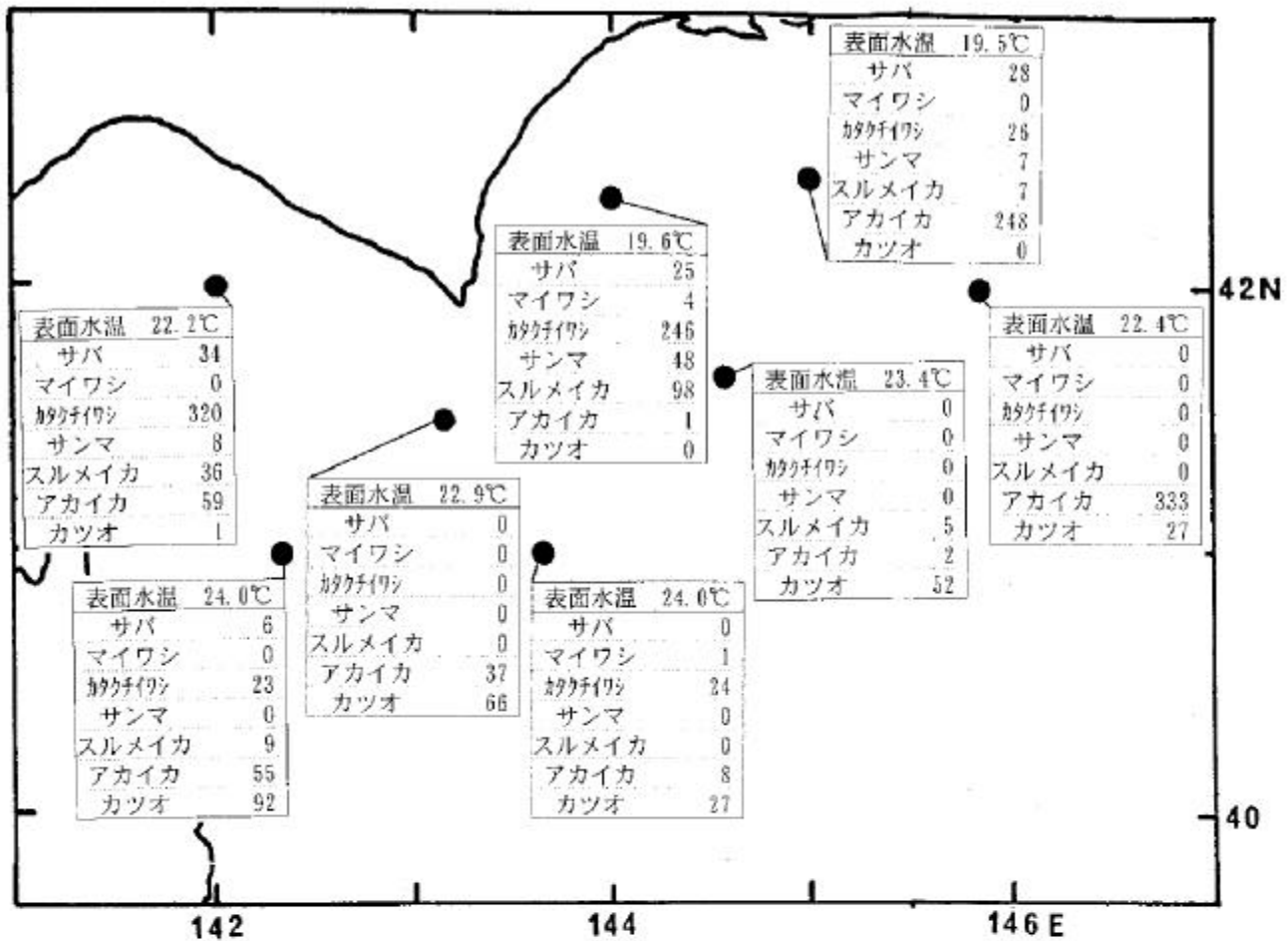


図1 漁獲試験調査点と表面水温及び魚種別漁獲尾数

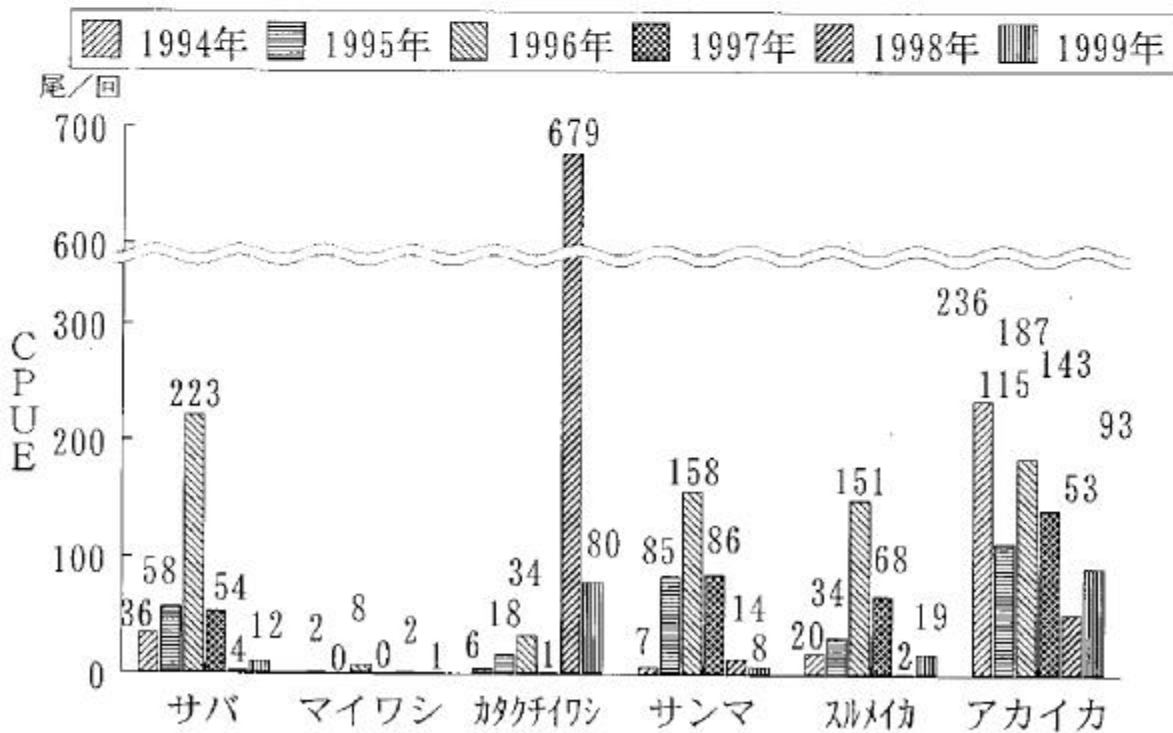


図2 漁期中調査における魚種別CPUEの経年変化